

HATS - F - 102 . 1 - V 1 . 0

G3 ファクシミリ V.34 他
相互接続試験実施ガイドライン Annex 1
(Fコード 親展・掲示板編)

HATS 推進会議
(高度通信システム相互接続推進会議)
ファクシミリ相互接続試験実施連絡会

G3 ファクシミリ V.34 他相互接続試験実施ガイドライン Annex 1

F コード 親展・掲示板編 改定履歴

版	改定年月日	改定内容	担当
1	2004.06.30	初版制定	笹野

本書は、HATS 推進会議が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を HATS 推進会議の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

1 . 目的	4
2 . Fコード親展・掲示板の機能概要	5
3 . 親展・掲示板の機能の概念図.....	8
4 . プロトコル.....	9
4.1 通信手順.....	9
4.2 DIS / DTC / DCSのビットON / OFF条件.....	11
4.3 SUB / SEP / SID / PWDのFIF.....	11
5 . PWD (SID) の取り扱い.....	12
6 . その他のサブアドレス機能	12
7 . 用語定義	12

1 . 目的

本 Annex は TTC 標準 TTC-G-009「G3 ファクシミリ V . 3 4 他、相互接続試験実施ガイドライン」で定めたサブアドレス通信試験に使用する F コード 親展・掲示板仕様として規定されるものである。

本仕様は、情報通信ネットワーク産業協会 (C I A J) 画像情報ファクシミリ委員会で定められたものである。

本仕様は C I A J において、 S U B コマンドまたは S U B / S I D コマンドを使用してファクシミリ端末が親展・掲示板機能を実現するための手段を規定するものである。

2 . Fコード親展・掲示板の機能概要

1) 機能概略

Fコード機能をSUB / SEPを使用した通信機能と定義し、メールボックスの種類として親展と掲示板を規定する。Fコードの機能をオペレータが選択するには、専用の‘Fコード’ボタンを押下するか、または何らかの通信機能ボタンを押下することによって‘Fコード通信’が表示されそれを選択することによって可能とし、実際にこの機能が通信手順上でSUB / SEPコマンドを使用して実現されていることをオペレータに意識させない操作とすることが望ましい。

- (1) 親展 : 個人用のメールボックスで受信原稿を一旦メモリに代行受信し、そのメールボックスの情報を知っている人だけが取り出せるもの。少なくとも登録は追加方式とし、取り出しによって消去されるモードを有すること。
- (2) 掲示板: 複数の人に公開するメールボックスで情報案内などに使用する。少なくとも登録は上書き方式(または手動で原稿を書き替える方式)で、取り出しても消去されないモードを有すること。

2) Fコード対応機の定義

Fコードを今後普及させること、及び既存のFAXを考慮してFコード対応機の定義を広いものとする。(図1)

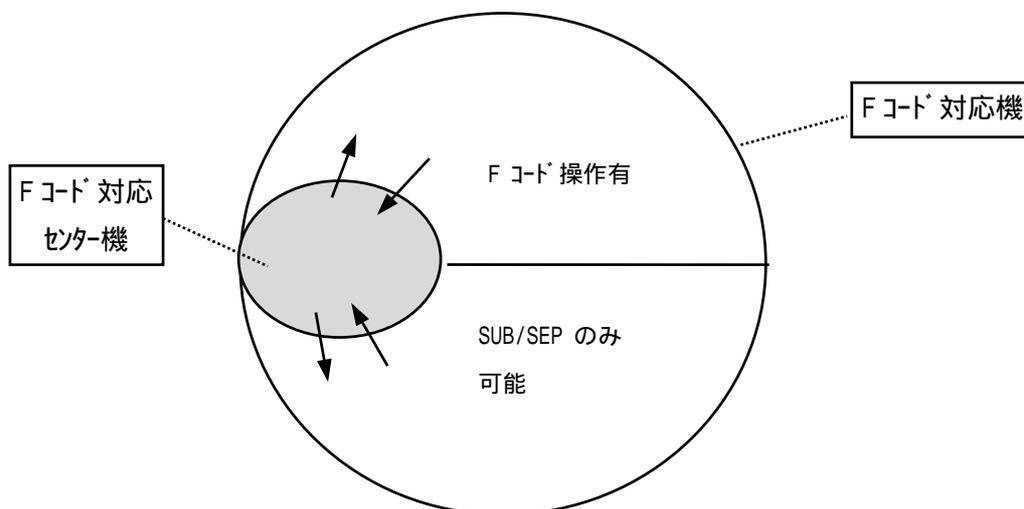


図1 Fコード対応機の定義

- a) 「Fコード対応機」とはFコード通信を行うことが可能な全てのFAXを指し、その中で親展/掲示板のセンターFAX機能を有するものを特に「Fコード対応センター機」と呼ぶこととする。
- b) 「Fコード対応センター機」の定義は親展または掲示板のいずれか一つ以上のセンター機能を有していれば良いものとする。
- c) Fコード機能ではパスワードを使用するなどの方法で親展箱のリモート取り出し及び掲示板のリモート登録を実現可能であるが、これらの機能は必須ではなく、実施するか否かはメーカーである。

Fコード親展・掲示板機能とFコード対応機/センター機の機能は表1の通り。

表1 Fコード親展・掲示板機能

	機能名称	機能概略	対応機の機能	センター機の機能
前処理	箱開設・消去	親展及び掲示板の箱開設または消去を行う。箱番号は通信上のSUB/SEP(Fコード)に相当し、20桁以内で任意に登録可能。		
親展	親展送信	相手局の親展箱に箱番号を指定して原稿を送信する。		
	親展受信	SUBコマンド付きで受信した場合、SUBの内容が自局に登録されている親展の箱番号と一致した場合には親展としてメモリ代行受信する。 少なくとも入力は追加、ローカル取り出しで消去というモードを有すること。		
	親展印刷	自局の親展箱に格納されている原稿を箱番号を指定して印刷する。		
掲示板	掲示板リモート取り出し	相手局の掲示板に格納されている原稿を箱番号を指定してポーリング取り出しする。		
	掲示板ポーリング送信	SEPコマンド付きでポーリング要求を受けた場合、SEPの内容が自局に登録されている掲示板の箱番号と一致した場合にその箱の原稿をポーリング送信する。 少なくとも取り出しで消去されないモードを有すること。		
	掲示板ローカル登録	自局の掲示板に自局のスキャナから箱番号を指定して原稿を登録する。少なくとも上書き方式(または原稿を書き替える方式)とするモードを有すること。		
	掲示板取り消し	自局の掲示板に格納されている原稿を箱番号を指定して消去する。		
	掲示板印刷	自局の掲示板に格納されている原稿を箱番号を指定して印刷する。		

: センター機はこれらの機能を有しても良い。

3) オペレーションマップ

Fコード機能を使用する場合のオペレーションマップの一例を図2に示す。Fコード対応機はこの例の通り、ユーザーにSUB/SEPコマンドの使用を意識させないような操作が望ましい。

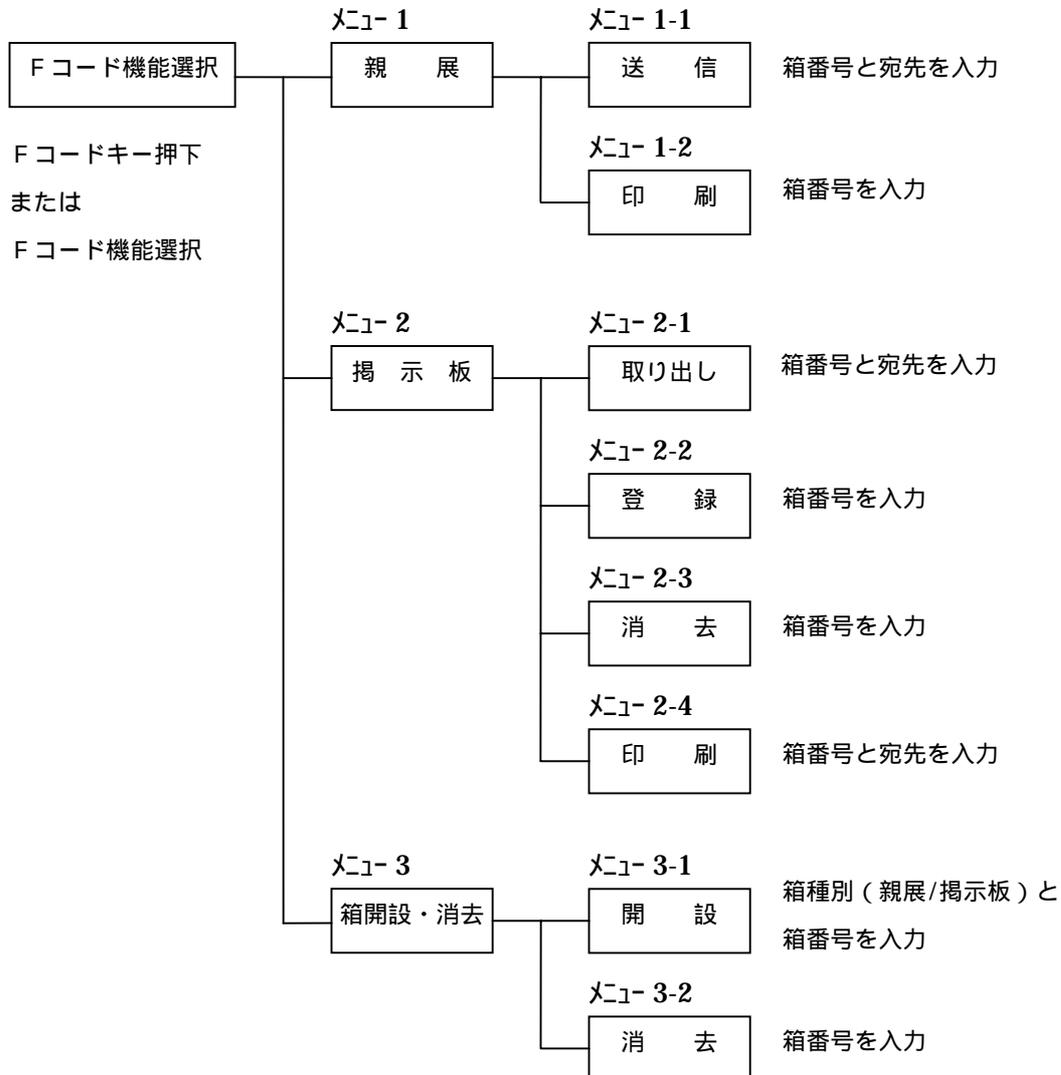


図2 オペレーションマップ

3. 親展・掲示板の機能の概念図

1) 親展の動作概念

親展の動作概念を図3に示す。

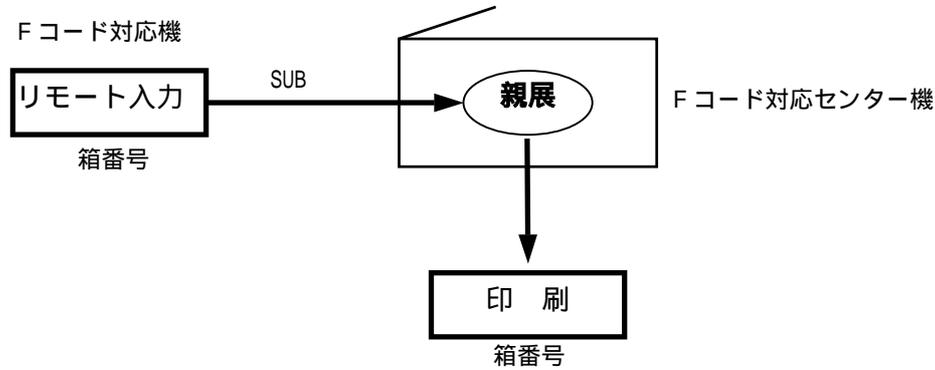


図3 親展の動作概念

2) 掲示板の動作概念

掲示板の動作概念を図4に示す。

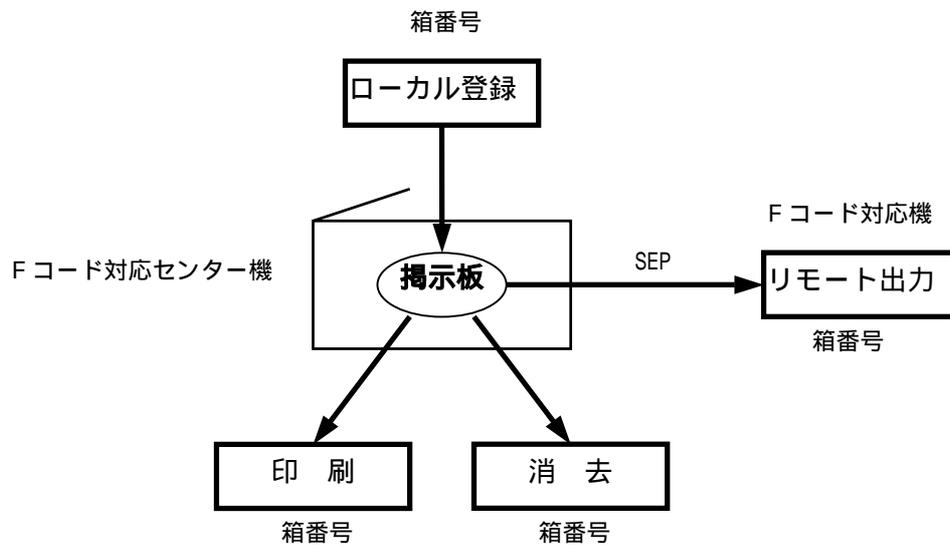


図4 掲示板の動作概念

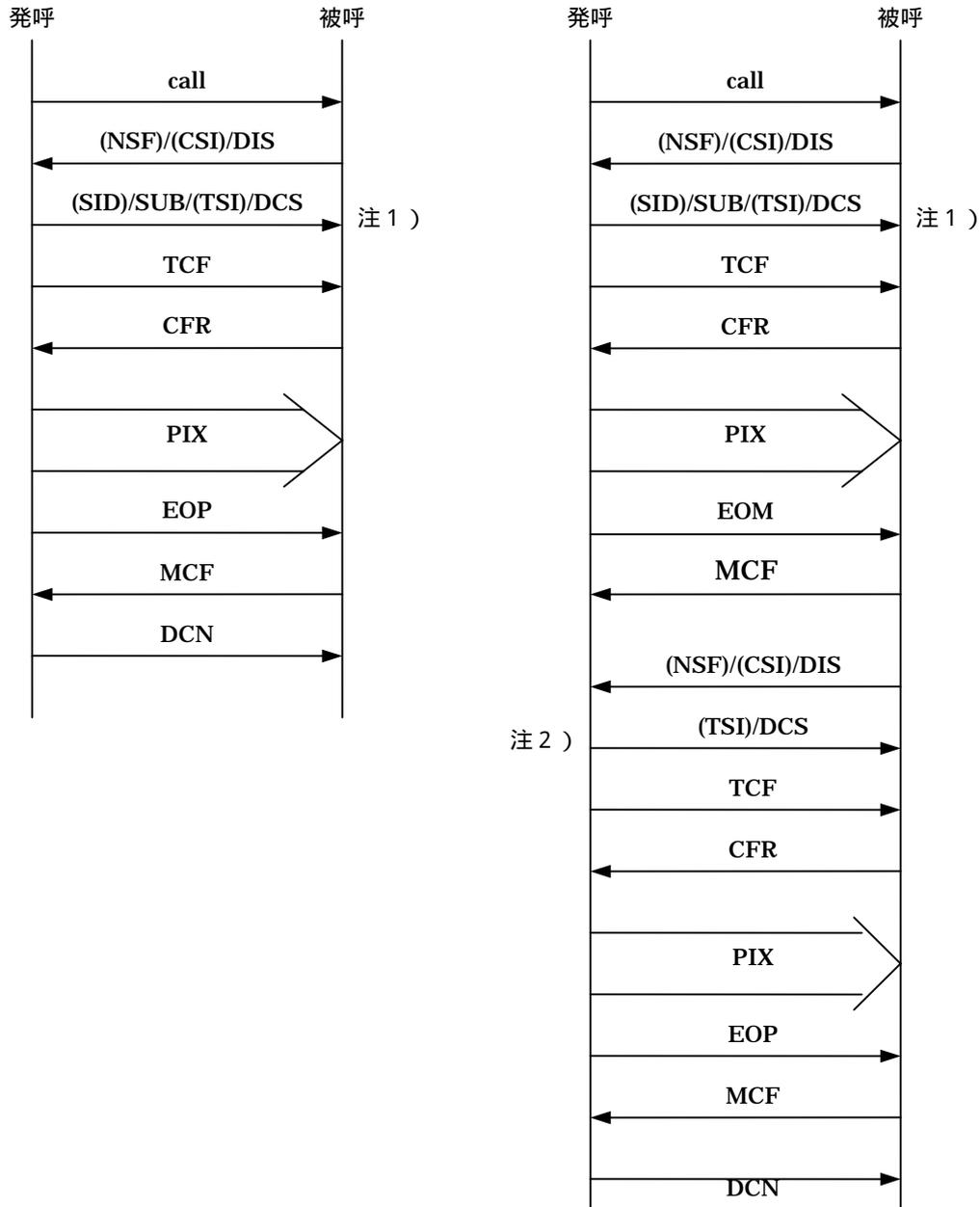
4 . プロトコル

4.1 通信手順

通信手順を図5に示す。

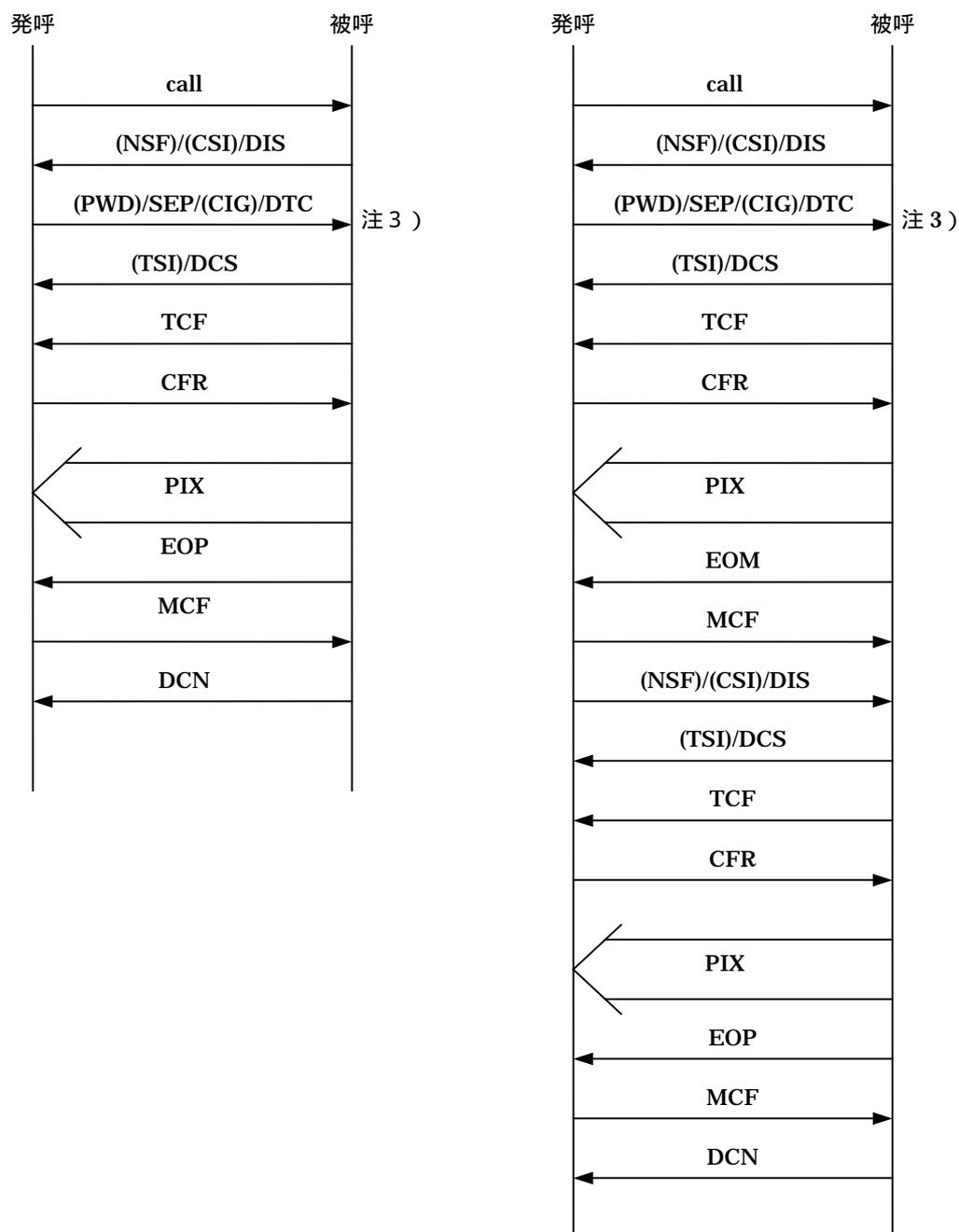
1) 親展送信 (1^レ -ジ)

2) 親展送信 (解像度変更 2^レ -ジ)



注1) 一致する箱が存在しない場合にエラーとするか、別のアプリケーションとして処理するかについては特に定義しない。

注2) SID / SUBを出さない、または同じSID / SUBを出す。

3) 掲示板取り出し (1^{ページ})4) 掲示板取り出し (解像度変更 2^{ページ})

注3) SEPで指定された箱が掲示板の場合にその箱に登録されている原稿をポーリング送信する。一致する箱が存在しない場合にエラーとするか、別のアプリケーションとして処理するかについては定義しない。

図5 通信手順

4.2 DIS/DTC/DCSのビットON/OFF条件

DIS/DTC/DCSのビットON/OFF条件を表2に示す。

表2 DIS/DTC/DCSのビットON/OFF条件

Bit No.	意味	DIS/DTC	DCS
9	Ready to transmit a facsimile document (polling)	Fコード親展・掲示板に関わらずポーリング送信原稿があればDISでON	Set to "0"
47	Selective Poling capability	SEP受信可能時のDISでON SEP送信時のDTCでON	Set to "0"
49	Subaddressing capability & function	SUB受信可能時ON	SUB送信時ON

4.3 SUB/SEP/SID/PWDのFIF

1) フォーマット

SUB/SEP/SID/PWDのFIFへの情報の格納フォーマットは図6の通り。

この例では'12345'を送信するケースを示している。回線への送出順序は最下位桁から最上位桁とし、以降をブランクで埋めるものとする。

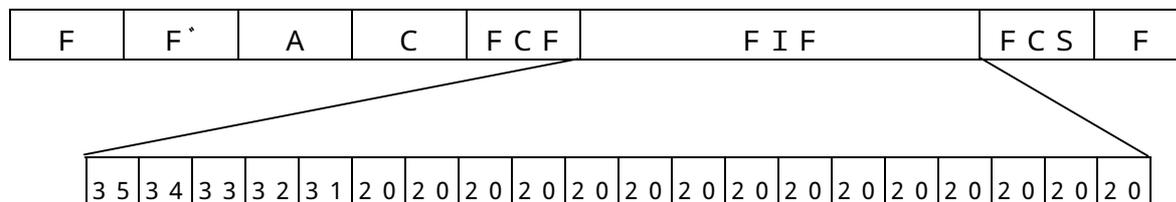


図6 SUB/SIDのFIFへの情報の格納フォーマット

2) 番号体系

SUB/SEPに格納する箱番号の番号体系はTTC標準JT-T33との整合性を考慮して' #'を使用しないこととし、更に' * 'も使用しないこととする。また、勧告上では途中桁のスペース(20h)も禁止していないが扱いが煩雑となるため使用しないこととする。従って箱番号に使用できるものは0から9の数字のみとし、桁数は1から20桁の任意とする。

SID/PWDに格納するパスワードの番号としては、0から9, ' * ', ' #'を使用可能とする。また、勧告上では途中桁のスペース(20h)も禁止していないが扱いが煩雑となるため使用しないこととする。桁数は1から20桁の任意とする。

5 . P W D (S I D) の取り扱

親展 / 掲示板機能に機密性を持たせるために、必然的にパスワードによる保護をかける要求が発生するが、Fコード通信ではパスワード(つまりP W D / S I D)による保護機能については必須機能とは扱わず、各社の設計にゆだねるものとする。パスワードを利用したアプリケーション例としては以下に示すものが想定できる。

- 1) 親展原稿を別のFコード対応機からリモート取り出しする。
- 2) 掲示板原稿をFコード対応機からリモート登録する。
- 3) 掲示板サービスを会員制として、パスワードを知っている人だけがアクセス可能とする。

6 . その他のサブアドレス機能

Fコード機能以外の目的でS U B / S E P / S I D / P W Dコマンドを使用するF A Xを考慮して、Fコード対応F A Xは送信及びポーリングの時に単にこれらのコマンドを送信する機能を有している方が好ましい。(LANのクライアントに送信する場合などにFコード機能を使用するのではなく、別の切り口のサブアドレス機能を使用するなど)

また、将来的なFコードの拡張や他のアプリケーションとの互換性を考慮して、S U B / S E P / S I D / P W Dコマンドの送出側は*及び#の送出が可能ないように設計することが望ましい。

7 . 用語定義

本仕様書の「親展」及び「掲示板」という機能名称をカタログ等に使用する場合には、以下の名称で表記することとする。

- 1) 親 展 : Fコード親展
- 2) 掲示板 : Fコード掲示板

なお、詳細についてはCIAJ画像情報ファクシミリ委員会による。
